

手賀沼通信(第302号)

Eメール: nittay@jcom.home.ne.jp
http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai

http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/
http://tegatu2.web.fc2.com

新田良昭

9か月ぶりにコロナ特集でない手賀沼通信ブログ抜粋をまとめてみました。

昨年度の古い記事ばかりで申し訳ありません。

手賀沼通信ブログ抜粋

24年ぶりに我孫子市の手賀沼公園・久寺家線が開通(No. 1591)(令和4年4月24日)

令和4年4月25日午前2時、国道356号のセブンイレブン前と手賀沼ふれあいラインの手賀沼公園前の間の道路が開通します。

それに先立って4月24日午前10時から開通する道路の手賀沼公園前でオープニングセレモニーが行われました。



今回開通する道路は国道6号と手賀沼ふれあいラインを南北に結ぶ1270メートルの手賀沼公園・久寺家線の一部で全線開通となりました。

今回開通する区間はわずか520メートルですが、事業認可を受けてから24年間の年月がかかりました。こんなに長くかかった理由の最大の原因は土地買収が進まなかったためようです。

この道路開通によりバスのルートが多少変わりました。今まではバスは我孫子駅からまっすぐ伸びる公園坂通りを通っていましたが、開通後はより広い道路を通ることになりました。多少距離が

延びるため途中にバス停が2つ増えることになりました。

ただ心配もあります。我が家の近くのふれあいラインの混雑が増す可能性があります。

なお市の広報によると、公園坂通りは「歩きたくなるみち」をコンセプトに市のシンボルロードとして整備していくとありました。

子供の出生数が過去最少、死亡数が戦後最多で人口減少はどうにも止まらない(No. 1604)(令和4年6月5日)

令和4年6月3日厚生労働省が2021年の人口動態統計を発表しました。

1年間に生まれた子供の数は81万1604人で6年連続で過去最少を更新しました。1人の女性が生涯に産む子供の数を示す「合計特殊出生率」は1.30で6年連続の低下でした。ちなみに2020年の数字ですが、韓国が0.84で最小、フランスが1.83、アメリカは1.64となっています。

一方死亡者数は143万9809人で戦後最多となりました。出生数から死亡数を引いた人口の自然増減は62万8206人で過去最大の人口減となっています。

厚労省は出生数の減少の原因は15～49歳の女性人口が前年より44万人減ったことに加え、新型コロナウイルス渦での出産控えが一因となったとみています。

私は別の見方です。1つは若者が以前ほど結婚しなくなったこと、2つ目は結婚しても産む子供の数が少なくなったことが原因とみています。

人口減少を防ぐには、結婚しない原因を突き止めて、それを防ぐ対策をとることが必要だと思います。

まず若者の意思改革が大切です。また、結婚できる所得がない、共稼ぎで子育てができる環境がない、だから結婚できないという声もよく聞きます。

若者の親の世代を含めて、社会全体で少子化を防ぐことが必要でしょう。女性が働くのが当たり前の社会になっています。結婚年齢も高くなっています。子育てを女性だけに任せるのではなく男女共同して子供を育てる必要があります。教育費にお金がかかる時代になっています。働く人の所得をもっと上げることも考えなくてはなりません。

おめでとう！仙台育英、そして東北地区の高校野球の初優勝（1628）（令和4年8月23日）

2022年8月22日、第104回全国高校野球選手権大会（夏の甲子園大会）の決勝戦が行われ、宮城県代表の仙台育英高校が山口県代表の下関国際高校を8-1で破り優勝しました。

仙台育英高校は初優勝で東北地区にとっても春夏を通じて初めての優勝となりました。

これまで東北地区の高校は春3回、夏9回決勝戦に臨みましたが勝てませんでした。高校野球（戦前は中等野球）は1915年（大正4年）夏に始まりました。プロ野球の誕生が1936年（昭和11年）ですから、それより21年も前に高校野球が生まれていたのです。今回が104回目の夏の大会です。東北勢は100年以上優勝から遠ざかっていたのです。沖縄や北海道にも先を越されていました。今回の優勝は東北6県の野球ファンにとって待ちに待った初優勝となりました。

東北からはロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平、サンディエゴ・パドレスのダルビッシュ有、トロント・ブルージェイズの菊池雄星などの大リーガーやロッテの完全試合投手の佐々木朗希などの素晴らしい選手が出ています。それでも高校野球の優勝旗は遠かったのです。

最も優勝に近かったのは、1969年（昭和44年）の三沢高校でした。戦後初めての優勝チャンスでした。愛媛県の松山商業と青森県の三沢高校が決勝戦で対戦、0-0で引き分け再試合となりました。

三沢高校の太田幸司投手はイケメンでコーちゃんと呼ばれアイドル選手の草分けともいえる人気者、延長18回と翌日の再試合を完投しました。再試合は4-2で敗れましたが悲劇のヒーローとなりました。

私は最初の試合の最後の何回かを、日本アイ・ビ

ー・エムのSEとしてお客様の談話室で一緒に見ていました。私は松山南高出身なので当然松山商業を応援していましたが、周りは全員三沢高校の応援でした。松山商業がチャンスを迎えても声を上げられなかったのを覚えています。「両校とも優勝にしろ」という意見が報道されたくらいでした。

その後私は仙台営業所に転勤となり3年ほど東北6県を担当しました。いまは高校野球では、愛媛、千葉に加えて東北6県の高校も応援しています。

イギリスのエリザベス女王が死去。日本人はイギリスの王室が好き（NO. 1634）（令和4年9月11日）

2022年9月8日、イギリスのエリザベス女王が亡くなりました。

96歳、今年2月に即位70年を迎え、存命の国家元首としては在位期間が世界一で、最も長寿でした。ご冥福をお祈りいたします。

女王の長男のチャールズ皇太子が「チャールズ3世」として新国王になりました。

エリザベス女王は1952年2月に父のジョージ6世の死去を受けて25歳で即位しました。

そして翌年の6月ウエストミンスター寺院で戴冠式が行われました。その様子がテレビ放送を開始したばかりのNHKで中継されました。私はどこで見たのか覚えていませんが、画像がうっすらと記憶に残っています。どこかでテレビを見たのか、映画館でニュース映画を見かのかどちらかだと思います。その豪華さ、見事さ、女王の美しさに圧倒されました。私は高校2年生でした。

それから69年あまり、エリザベス女王はいろいろな局面で登場しました。一時はダイアナ妃に人気と注目が当たりましたが、それを除くと女王は常に皇室の中心でした。亡くなる2日前にはパルモラル城で新首相のトラス氏を任命したばかり、静かに亡くなられたと報道されていました。

日本人はなぜかイギリス王室が好きなようです。

12年前から毎年12月に読売新聞の読者がその年の海外10大ニュースを選んでいるのを手賀沼通信ブログに書いていますが、イギリス王室のことが12年のうち7回選ばれています。

・2011年 10位 英ウィリアム王子が結婚

- ・ 2012年 4位 エリザベス女王の即位60周年で祝賀行事
- ・ 2013年 2位 英王子の妻キャサリン妃が男児出産
- ・ 2015年 7位 キャサリン妃が長女出産
- ・ 2018年 6位 英ヘンリー王子が米女優と結婚
- ・ 2019年 10位 英ヘンリー王子に男子誕生
- ・ 2020年 8位 英ヘンリー王子夫妻公務引退

私は1つも選びませんでしたが、日本人が英王室が好きということを知られました。

エリザベス女王の存在が大きかったのかもしれませんが。エリザベス女王の国葬には全世界が哀悼の意を表すと思います。

我孫子市の3年ぶりの民謡発表会（NO. 1646）（令和4年10月24日）

令和4年10月23日、湖北公民館で民友会の民謡発表会が行われました。

我孫子市には最近まで「我孫子市民謡連盟」があり、最盛期には10以上の民謡の会が所属していました。ところが会員の高齢化や会長の後継者がいないなどの理由で3つにまで減少していました。そこにコロナがやってきて「我孫子市民謡連盟」は事実上解散状態になりました。

連盟では毎年5月の「民謡鑑賞会」、11月の「文化祭」、2年に1度の8月の「民謡大会」などを開催していました。それがなくなったのです。

そこで現存している「愛友会」「星謡会」「はなぶさ会」で「民友会」を結成し発表会を開催することにしたのです。コロナのため舞台で唄う機会がなかった会員が舞台上で民謡を楽しむためでした。

そのため一般市民への宣伝や広告は行わず、原則観客なしでの開催でした。わずかに会員の家族や知り合いが観客として来ていたようです。私は3年前まで愛友会の会員でしたので声がかかったのです。

愛友会の稽古はコロナ1年目は休んだようですが、コロナ2年目の途中からは再開していました。

今回の発表会は、以前の大会並みに、本格的な伴奏とお囃子つきで、舞台衣装を着て、1人2曲ずつ唄いました。皆さんブランクを感じさせない

素晴らしい声で唄っていました。

亡くなったり、体調を壊したり、引退したりして、何人かのメンバーが欠けていたのは残念でしたが、久しぶりに懐かしい仲間に出会えて、民謡を楽しむことができて、うれしい大会でした。



サッカーワールドカップ、日本惜しくもベスト8を逃す（NO. 1661）（令和4年12月7日）

サッカーワールドカップの2022年12月6日午前0時から行われたベスト8をかけた決勝トーナメント戦で、日本はペナルティキック戦でクロアチアに敗れベスト16に終わりました。

この試合は1-1のまま延長戦に入りましたが、延長戦では両チームに得点が入らず、ペナルティキック戦となりました。そこで1-3で敗れました。ベスト8以上は次回の2026アメリカ・カナダ・メキシコ大会に持ち越されることになりました。

日本はグループリーグ戦では死の組と言われたE組でドイツとスペインをいずれも2-1で破り、コスタリカには0-1で負けましたがグループトップでトーナメント戦に進みました。

日本は1998年のフランス大会以後7大会連続出場を果たしました。フランス大会ではグループ戦敗退、次の日韓大会ではベスト16となり、以後交代でグループ戦敗退とベスト16を繰り返してきました。変な言い方ですが、今回はグループ戦敗退の番でした。

しかもグループEには過去優勝4回でFIFAランキング1位のドイツと優勝1回でランキング7位のスペインが入っていました。日本はベスト16が最高でランキングは24位です。とても

ドイツとスペインには勝てないと予想していました。

それが勝ったのです。奇跡といっても過言ではありません。海外のメディアも日本をほめたたえていました。

トーナメント戦のクロアチアとは5分5分の勝負と予想しましたが、その通りでした。

日本はサッカー大国に名乗りを上げたと感じています。よくやったニッポン！。森保監督はインタビューで「必ず未来は変わる」と言っていました。ぜひ変えてほしいと願っています。

2022年日本10大ニュース（NO. 1666）（令和4年12月24日）

2022年12月24日、読売新聞の読者が選んだ「2022年日本10大ニュース」が決まりました。

- 1 安倍元首相が撃たれ死亡、9月に国葬
- 2 サッカーW杯で日本代表熱戦
- 3 知床観光船沈没事故
- 4 大谷翔平、ルース以来の2桁勝利2桁本塁打
- 5 ヤクルト村上が56号本塁打、三冠王
- 6 32年ぶりに円安、1ドル＝150円突破
- 7 北京五輪、日本勢のメダル冬季最高
- 8 旧統一教会が政治問題化、文科相が質問権行使
- 9 藤井聡太竜王が最年少5冠
- 10 新型コロナ感染者、1日あたり10万人超え

読売新聞が用意した11月までの56項目から10項目を選んで応募する方法です。

有効応募総数は昨年の27,731通よりやや少ない26,606通でした。年代別では70歳以上が一番多く26%で、それに次いで多かったのは60歳代で25%でした。19歳以下は21%で3番目でした。

全项目的中者は昨年の14人よりやや少なく11人でした。全体では6项目的中者が一番多く24.1%でした。

私も応募しました。昨年は9项目的中でしたが、今年は8项目的中に終わりました。

6、10の代わりに

- 12 改正民法施行、成人年齢18歳に
- 15 ロッテ・佐々木朗希が完全試合

を選びました。

15を選んだのは野球ファンだったためです。6を選ばなかったのはミスでした。10を選ばなかったのは1日の感染者が26万人を超えた日もあったからです。

8项目的の中者は全体の8.2%でした。

2022年海外10大ニュース（NO. 1667）（令和4年12月25日）

2022年12月25日、読売新聞の読者が選んだ「2022年海外10大ニュース」が決まりました。

- 1 ロシア、ウクライナ侵略開始
- 2 エリザベス英女王死去
- 3 ソウル・梨泰院で雑踏事故
- 4 W杯カタール大会開幕
- 5 新型コロナ感染、6億人突破
- 6 原油急騰、100ドル突破
- 7 中国で習近平総書記の3期目政権発足
- 8 マスク氏、ツイッター社買収完了
- 9 世界人口80億人、国連発表
- 10 上海市が都市封鎖開始

読売新聞が用意した11月までの52項目から10項目を選んで応募する方法です。

有効応募総数は昨年の19,088通より増えて20,070通でした。年代別では69歳代と70歳以上が24%で最も多く、19歳以下がそれに続く23%でした。

全项目的の中者は昨年は2人でしたが、今年はわずか1人でした。全体では6项目的の中者が最も多く29.6%で、それに次いで5项目的の中者が25.1%でした。

海外10大ニュースは日本10大ニュースと比べると的中率が落ちます。応募者の価値観と判断基準が人によって異なるせいだと思います。

私も応募しました。

昨年は8项目的の中でしたが今年は6項目に下がりました。

6、8、9、10の代わりに

- 15 尹錫悦・韓国大統領就任
 - 16 ジャッジがア・リーグ新の62号本塁打
 - 19 米中間選挙、野党・共和党が下院勝利
 - 23 スナク英首相就任、首相交代相次ぐ
- を選びました。来年はロシアのウクライナ侵略が

終わったニュースをトップに据えたいですね。